

# 穂学

令和2年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 2]

令和2年4月28日(火)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

## 「中学部3年生つし登校始まる！」

昨日4月27日(月)から令和2年度広州日本人学校を一部スタートすることができました。穂学No.1で紹介したとおり、開校までに学校内の衛生管理を整え、保健局の数回にわたる検査をクリアし、開校環境を整えてきました。しかし、生徒が登校するためには、教職員と生徒のPCR検査も急遽実施することになり、先生方は学校で、中3生徒は各マンションで検査を行いました。その日の夜には全員「陰性」の連絡を受け、安心して開校することができました。広州では一部地域で「第2波」の感染が出始めているため、引き続き緊張感を持って節度ある日常生活を送ると共に、広州保健局や国のガイドラインに沿った適切な学校運営を行っていきたいと考えています。

登校時の生徒は、中央階段を上がり区分された事務室前通路を通り、サーモグラフィーによる体温検査を経て、安全に中3教室へと移動しました。このような形で今後登校できる学年の児童生徒が増える前に、入校のシミュレーションを行うこともできたことは大変有意義でした。引き続き、不測の事態でもスムーズな対応ができるよう心がけたいと思いますが、まずは家庭での健康観察が大切になりますので、登校時のご協力を宜しくお願いします。



さて、中学部の授業はいつもどおり6時間の時間割を組んで、各教科の復習などに取り組んでいます。現在のところ3名ではありますが、これまでの家庭学習の状況を確認しながら、一人一人に応じた指導を行っています。また、体育の授業では先生方の参加もあり、ソフトボールや卓球など球技種目を中心に体を動かして、運動する楽しさや喜びが感じられる時間になっています。

4月16日(木)には、イーストウェストメディカルセンター張小峰総経理と荒井富美子副総経理から、千枚のマスクを寄贈していただきました。「一衣帯水守望相助(隣国の友として、お互いに助け合いましょう)」の力強いメッセージも頂き、新型コロナウイルス感染症に負けない、安心・安全な学校づくりの決意を新たにすることができました。謝謝!

